

ここ数年の訪日外国人客の急増で、首都圏ではホテル不足の状況が続いている。京王プラザホテル（東京・新宿）の山本護社長に観光需要などの見通しを聞いた。

——今年の国内景気をどうみていますか。

「基本は横ばいだが、株価が上がっていることもあり、若干プラスの状況になるかもしれない。底堅く推移するとみている」

——トランプ次期米大統領への期待から米国の株高や円安が続いていま

訪日外国人増加続く

京王プラザホテル社長 山本 護氏



す。

「この先トランプ氏がどのような政策を打ち出

単価・稼働率上昇は踊り場に

していくのか予想が難しく、先を読むのは困難だが、米国の景気は堅調に推移するのではないかと引張られる形で日本の景気にもプラスになる。この円安傾向が続けば、訪日客の増加や国際会議などMICE（マイス）の需要増、ビジネス客の増加に多少寄与するだろう。

う」

——今年の訪日外国人の増減の見通しは。

「2019年のラグビーワールドカップ、20年の東京五輪・パラリンピックの開催に向けて、今年も訪日客は増えるだろう。ただ、ホテル業界への影響は変化しつつある」

「民泊の広がりもホテル業界に影響がある。3LDKの部屋が1泊3万

非常に敏感だ。宿泊施設がいらぬクルーズ船の利用も増えた。ホテル業界にとって2〜3年先の需要は見えていないが、今年はいよいよ一層の努力が試される」

ただ、それほど大きなマーケットなので、多少波風が立っても富裕層への影響は少ないのではないかと。かつて訪日中国人客は富裕層が中心だったが、かなり裾野が広がってきている」

——今後も日本を訪れる外国人を増やすためには何が必要ですか。

「日本は世界で一番、安心・安全で親切な国だと誇りを持って言える。最近ではインドネシア人観光客が増えるなど、まだ訪日客の拡大の余地はある。そのためには、こうした日本の良さをきちんと伝え、文化やアートといった観光のソフト部分をさらに充実させていく必要がある」

「中国経済と訪日客の見通しは。——とても読みづらい。」

「中国経済と訪日客の見通しは。——とても読みづらい。」

「とても読みづらい。」

（聞き手は山内菜穂子）